

「NO, 1 ルール」

校長 金塚 一明

夏休み前、子どもたちに聞いたアンケート

友だちからイヤなことを言われたりされたりしたことがありますか？

「ある」と答えた子は、115 人でした。全校児童の 26.4%、4 人に 1 人です。
された子がいるということは、した子がいるということです。

この事実を夏休み明けの全校集会で子どもたちに話し、「イヤな思いをする人、いじめをゼロにするにはどうしたらいいですか？」と聞きました。

その子なりの、その成長段階でのいろいろな考えがあります。大切なのは、子どもたち一人一人がこのことに向き合い、自分で考え、行動することです。

お子さんが、どのように考えているかご家庭で話題にしてください。そのことが、いじめの防止や早期発見につながります。

さて、山田小学校で一番大切なルールだと子どもたちに話したきまりがあります。

NO. 1 ルール（ナンバーワン・ルール） と言います。

このルールはとってもシンプルです。

「人にされてイヤなことはしない。自分がされてうれしいことを人にもする。」
これだけです。

子どもの世界であろうが、暴力や脅し、からかいや侮辱など「ダメなものはダメ」と教えていくことが大人の大切な役割だと考えています。学校でも繰り返し繰り返し指導していきます。

子どもたちが意地悪をされていたり、していたりしたら「山田小学校で一番大切なルールは何だった？」と人差し指を 1 本立てて声を掛けてください。
この人差し指 1 本が「NO. 1 ルール」を意味します。

ぜひ、学校だけでなく、各家庭で、山田地域全体でこの「NO. 1 ルール」を広めていただきたいと思います。

*

夏休み明けの登校日、子どもたちを玄関で迎えました。

夏休みの課題や作品を両手に抱えた自慢げな顔、久しぶりに友だちや先生と会えるという期待に溢れた顔、もう夏休みが終わっちゃったなあという少し残念そうな顔、まだ夏休みのリズムなのか眠たそうな顔…。

いろんな顔がありましたが、全校 434 人の子どもたち、みんなの顔を見ることができ、とてもうれしく思いました。

夏休み明けは、子どもの自殺やいじめが増えるというデータもあります。

山田小学校の子どもたちが、「NO. 1 ルール」を守り、日々楽しく充実した学校生活を過ごせるよう職員一同努めてまいります。

前期後半もどうぞよろしくお願いいたします。

